

## 薬用作物の産地化に向けた地域説明会・相談会が終了

薬用作物産地支援協議会(以下、薬産協)の主催で国内での薬用作物の産地化を目的として、2022年9月20日の東京を皮切りに郡山、長野で開催されてきた地域説明会および相談会が11月10日の奈良開催を最後に今年度のシリーズを終えた。

いずれもハイブリッド開催であったが、総参加者数は200名を超え、薬用作物生産に対する関心の高さが伺われた。

シリーズ最後となった奈良開催では、以下のように、地元奈良県から2つ、三重県から1つの生産団体の取り組みについて紹介があった。

- ・奈良県宇陀市 宇陀市薬草協議会
- ・奈良県橿原市 佐藤薬品工業株式会社 和漢薬研究所
- ・三重県鈴鹿市 三重県農業研究所 花植木研究課

当日は、NHK奈良放送局の取材も入り、夕方のニュース番組で、薬産協の小柳氏の講演風景・インタビューや講演いただいた宇陀市薬草協議会の大和当帰の栽培化に向けたご苦労や同生薬の新たな利活用への取り組みが放映された。その様子は以下のWEBサイト\*でも視聴可能である。



【インタビューを受ける小柳氏】

今後も、薬産協としては、高まる生薬へのニーズに応えるべく、地域説明会等を通じて、生薬の生産拠点を増やしていく活動を続けていく。

WEBサイト\*: [「漢方薬の原料」薬用作物の生産拡大を 奈良市で農家に説明会 | NHK 奈良県のニュース](#)



【講師の方々】



【NHKのカメラが入る中での会場の様子】